

小平市議会議員  
日向みさ子

一般質問

ひとり親家庭でも暮らしやすい社会を

育児・家事・仕事を一人でこなさなければならぬひとり親は、大変忙しく支援の手は欠かせません。質問では、情報を確実に届けるため「ひとり親家庭ミニミニガイドブック」を窓口で必ず渡すことや、ひとり親家庭の実態調査の実施などを提案しました。

当事者の声を聴くことで既存の制度をより有効に活用するという発想が市には不足していると感じます。特に、厳しい現状に置かれている母子世帯については今後も施策の充実を強く働きかけていきます。

仲町図書館のラウンジをカフェに

ルネこだいらのレストランは地場野菜の活用など食事を楽しむ場としての充実が必要と感じており、事業者の公募を含め新たな展開を求めました。また、新しく建設する予定の仲町公民館・図書館のカフェラウンジは、自動販売機を置くだけという市の構想には反対です。事業者や市民団体との協働により、くつろぎの場を創出すべきです。管轄の教育委員会だけでなく産業振興課な

どとの庁内連携で、創意工夫をしていくことを強く要望しました。

(質問件名：魅力ある食のさらなる発信を小平から)



小平市議会議員  
岩本ひろ子

一般質問

外国人施策は、交流事業から具体的な支援へ

市内に暮らす外国人は 4000 人弱。言葉や文化など多様な背景を持つ外国人市民の地域での生活を支えるための施策は十分とは言えません。質問では国際交流協会の相談体制の整備、外国籍の子どもとその家族をまるごと支えるしくみづくりを求めました。現在国際交流協会では再構築チームが事業の見直しに着手。これまで繰り返し提案してきた「交流から支援へ」のシフトに期待します。(質問件名：国際交流協会との連携で多文化共生のまちづくりを)

市民とともに太陽光発電日本一を

原発に頼らず地域分散型のエネルギーをつくろうと、市民団体が、融資を募り集合住宅の屋根に太陽光パネルを設置。市民共同発電所として2月から発電を開始しました。市が掲げる「太陽光発電日本一」実現のため、こうした活動の後押しを求め前向きな答弁を得ました。新たな提案として農地にパネルを設置し、太陽光を農産物と発電でシェアする「ソーラーシェアリング」についても質問しました。

(質問件名：市民とともに小平発のエネルギーシフトをすすめるよう)



ネット議員の活動日誌

- 26日(火) 3月議会本会議(初日)
- 27日(水) 一般質問
- 28日(木) 一般質問
- 1日(金) 一般質問
- 2日(土) こだいらソーラー点灯式
- 4日(月) 予算特別委員会(一般会計)
- 5日(火) 予算特別委員会(一般会計)
- 6日(水) 本会議
- 7日(木) 住民投票条例特別委員会
- 8日(金) 予算特別委員会(一般会計)
- 9日(土) 生活クラブまち大会
- 11日(月) 総務委員会
- 12日(火) 生活文教委員会
- 13日(水) 青少年問題協議会  
ニューズリニエール  
プロジェクト会議
- 14日(木) 厚生委員会、円卓会議  
建設委員会(傍聴)
- 15日(金) 小川一丁目児童館オープン  
記念式典
- 18日(月) 市長選公開討論会  
小平ネット運営委員会
- 19日(火) 中学校卒業式  
こだいらDV防止ネットワーク  
定例会議
- 21日(木) 幹事長会議、会派会議  
月例フォーラム：子どもたちを大切に「社会」
- 22日(金)



## トピックス

## 一般会計予算の質疑から

## 子宮頸がんワクチンへの正しい情報提供を

一般会計予算は3日間にわたり質疑が行われます。健康福祉部の審査でも多くの質問をしましたが、その一つとして都内で重篤な副反応が報告されている子宮頸がんワクチンについて聞きました。子宮頸がんは、性感染症であることから女子だけではなく男子生徒も含め学校で予防について正しい知識を学ぶ機会をもつことを重ねて提案しました。健康課からは教育委員会に伝え検討していくとの前向きな答弁がありました。

4月から自己負担分がなくなりますが、子宮頸がんワクチンについては、内容についてよくわからないという問い合わせが以前から生活者ネットワークには届いています。無料だから受けるということではなく、病気の原因や予防、ワクチンについての十分な知識と情報をもったうえで判断することが必要です。

小平市議会議員  
平野ひろみ

## 一般質問

在宅介護をすすめ、安心して暮らして  
づけるために

基幹型地域包括支援センター（中央センター）の役割は、5つのセンターの連絡調整や職種別連絡会のまとめ役と、虐待や困難ケースに対しての支援、人材育成などです。これから設置される「地域ケア会議」を充実させ、在宅医療については往診や24時間体制が可能な診療所を増やすよう要望しました。

地域包括支援センターが高齢者にとっての身近な相談の窓口であることをわかりやすくするためにも名称の変更について再度の提案をしました。（質問件名：医療と介護の連携と地域包括ケアシステムについて）

空き家の有効活用で地域の活性化につ  
なげよう

昨年実施した空き家等の実態調査報告は公表せず、減災防災対策を検討する上での基礎資料にすることが質問によりわかりました。それだけでなく有効活用すべきです。世田谷区での「地域共生の家」の取り組み事例や「空き家等地域貢献活用窓口」の設置のことをあげて、空き家や空き店舗情報を行政の立場で市民ニーズとマッチングするための支援策を検討するよう、要望しました。住宅政策については、庁内連絡会議をつくり検討を始めたいという答弁を得ました。



空き家や空き店舗情報を行政の立場で市民ニーズとマッチングするための支援策を検討するよう、要望しました。住宅政策については、庁内連絡会議をつくり検討を始めたいという答弁を得ました。

※掲載したのは活動の一部です。これ以外にもヒヤリングや調査、相談など議員それぞれに活動しています。

24日(水)	小平市議会臨時議会
16日(火)	議会報編集委員会
15日(月)	会派会議
13日(土)	原発どうする！たまウオーク (国立市)
12日(金)	リヒテルス直子さん講演会 安心・共生・幸せくオランダ 型成熟市民社会に学ぶ
10日(水)	NPO多摩在宅支援センター 円「見学(立川市)
9日(火)	小学校入学式 復興バザー&交流会 会派会議
8日(月)	小学校入学式
4月	
31日(日)	図書館友の会・古本市
29日(金)	八ツ場裁判控訴審判決 臨時議会
28日(木)	小平・村山・大和衛生組合 臨時議会
27日(水)	小平ネット子ども部会 ニューズリニューアル プロジェクト会議
26日(火)	本会議最終日
25日(月)	議会報編集委員会
23日(火)	小学校卒業式、会派会議 「セクシャルマイノリティのこ とを知り、誰もが生きやすい 社会を」
23日(火)	アドボカシーカフェ